

別紙様式 3

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 土岐紅陵高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和6年9月13日(金) 13:30~15:30
- 3 開催場所 土岐紅陵高等学校 総合学科棟3階 会議室
開催にあたり、委員による授業参観(第5限)を実施した
- 4 参加者

会 長	土本 泰	至学館大学職員
委 員	伊藤 公一	美濃文山窯
	加藤 直美	土岐市立西部こども園 園長
	加藤 美由紀	本校PTA副会長
	神崎 弘範	土岐市立西陵中学校 校長
	後藤 淳	土岐市立下石小学校 校長 (欠席)
	土本 訓子	土岐市市民活動課
学校側	田中 誠二	校長
	木澤 朗	教頭
	塩崎 勉	事務長
	金子 浩隆	教務部長
	坂崎 陽祐	生徒支援部長
	大宮 学	進路支援部長
	井上 裕美子	活性化推進部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) スクールミッションの策定について

- 意見1: 事前にもらった資料で学校原案を一読したときに、言葉の選び方に違和感があった。個人的に解釈を深めた一方で、学校の説明で原案の意図を詳しく知ることもできた。受け取り手によって解釈が分かれても良いのではないかと感じられた。
- 意見2: 言葉の選び方に「ひっかかり感」があるが、敢えてそこに意味を持たせようという意図感じられた。これを職員及び生徒が十分に共有できるとよい。
- 意見3: 「主体的」には、自己選択・自己決定・自己責任を含んでいる。「主体的」の意味を職員及び生徒が深く考えてほしい。ミッションに含まれた言葉・理念を丁寧に共有したい。
- 意見4: 「スクールミッション」の策定過程で、関係者へ問いかけることにより、各々が本校の存在意義・社会的役割・目指すべき学校像を見つめ直す機会となり良いことであった。
- 意見5: 学校原案は、本校の目指す姿や取組みをきれいに表している。手の届くところで、目指す姿を設定している良さを感じる。最後を言い切り型にして、強い意志を表現できた。
- 意見6: 「多様性」は「共通の理念」がないと多様にならない。「スクールミッション」に「共通の理念」が表れている。本校は「多様」でありながら「マインド」に一貫性がある。
- 意見7: 原案を作ってみようとしたが、難しかった。誰に向けて発信するかによって、表現も変わる面もあり、難しいと感じる。

別紙様式 3

意見 8 : スクールミッションは、誰に向けて発信するのか。

⇒ 特定の対象者がいるのではなく 本校の存在意義・社会的役割・目指すべき学校像を学校内外に対して分かりやすく示すものである。教育活動を実施する上での基礎となる考え方を共有するために発信する。

意見 9 : 「スクールミッション」の使われ方・ねらいが不透明で疑問に感じる。

(2) 授業参観について

意見 1 : 10月の「窯元まつり」で関わるが、目的意識がある生徒が多い。本日の授業参観で本校の現状を見て、先生と生徒の柔らかい雰囲気の間隔感を感じながら、様々なことに合点がいった。

(3) 4～8月の学校運営について

意見 1 : 6月の西陵校区の本校生徒の発表を聞いて、中学生が本校に進学したいと思わせる魅力があることを実感した。

意見 2 : 生徒から「じぶん開発講座」で開講して欲しい内容等の要望はあるか。または生徒に訊く機会はあるのか。

⇒ まだ立ち上げたばかりで教員発案で開講している。「講座」というよりは、生徒が主体的に活動できる「環境」を設定している。生徒自身にとって興味・関心がある「講座」であれば、そこに生徒が集まって来る場であると考える。

(4) 9月以降の学校運営について

意見 1 : 生徒の「窯元まつり」で見る姿は学校とは異なる。ぜひその姿を目にして欲しい。

(5) 今後の学校運営に関わる構想と展望・学校活性化に関する意見交換

意見 1 : 地域との橋渡しを、行政としても支援したい。

意見 2 : 本校とは、20年以上前から関わりを持っている。以前と比較して、生徒が朗らかで自然体であり、学びの場としては良い環境であると感じる。

意見 3 : 挨拶が、爽やかでしっとりしている。昨年と異なり、生徒指導の成果が表れている。

意見 4 : 下校時の服装は、地域の方々が見ていることも意識すべきだ。

意見 5 : バスの校地内乗り入れは素晴らしいことだが、それに伴って保護者送迎時の乗降マナーに注意喚起及び指導が必要である。

意見 6 : 中学生は「高校説明会」「ホームページ」を頼りにしている。

意見 7 : ホームページでは、生徒の活躍の大小に関わらず見逃さないで披露していて、素晴らしいと感じる。

意見 8 : 中学生が本校に進学する際に選択する材料に、教育内容の充実・総合学科としての魅力が挙げられている。積極的な情報発信や中学校への説明が功を奏している。

意見 9 : 地域に眠っている豊富な人材資源をもっと活用したい。

6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会は、7人の委員のうち6人の出席により開催した。今回は、4月以降の主な学校行事と日常の学校生活を紹介することで本校の教育活動の理解を深めることと、スクールミッションの策定(学校原案の協議)を趣旨とした。

意見交換では、各委員から多様な視点で好意的かつ建設的な意見が寄せられ、協議を深めることができた。

1月の第3回学校運営協議会は、土岐市文化プラザにおいて3年次生徒の課題解決学習発表会を参観した後、1年間の総括と来年度の学校運営基本方針等を協議する予定である。